



1947年開校

創立74年

や も と

「4月号」令和 3年 4月16日発行

飛 翔

校長 高部 振司

「玄鳥至」(つばめ きたる) 今年も空を切って飛ぶツバメの姿が見られるようになりました。

全長は17cm。(削っていない鉛筆の長さと同様) 空中を飛ぶ虫を餌にするので、稲の害虫を食べる鳥として大切にされました。そのためツバメに関する言いつたえが各地にあります。日本で繁殖



をしたツバメは台湾を経由してフィリピン、マレーシアで越冬します。その距離、2千km以上。家の軒下(のきした)に巣をつくるツバメは、雷や火事を防ぐ生きものと信じられ、子どもを生み育てるめでたい鳥として今も人々に愛され、大切にされています。お店の軒先や消防署、警察署、駅のホームなどで、子育てから巣立ちまでを見せてくれる身近な鳥でもあります。

4月7日に行われた入学式は昨年度と同じく、新入生と教職員、PTA会長だけの式となりましたが、厳粛な雰囲気の中、新入生は緊張しながらも新たな希望を胸にがんばろうという気持ちがその表情から伝わる式となりました。

日常のあたりまえが、いかに大切なことだったかが実感する日々が続いていますが、地域の方々や、保護者の皆様にご理解、ご協力、ご支援をいただきながら、教職員と共に今年度も教育活動を進めてまいります。693名の生徒、そして教職員共々どうぞよろしくお願いいたします。

生徒のみなさんも、一年間を通して、自分を見つめ、努力を重ね、挑戦しましょう。みなさんのその姿が周囲の人々の力になります。ぜひ、自分の行動や取組がいかに大切か、自覚を持ち、日々の生活をていねいに送りましょう。先生方、職員共々応援しています。

学校教育目標

「たくましく、生きる力を育むために」

○自ら学習に意欲的に取り組む姿勢と、確かな学力を育てます。【知】

○豊かなかかわり合いを通して社会性を育み、思いやりの心を育てます。【特】【公】

○自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を育みます。【体】【開】